

2021 年度
年次報告書

東京理科大学国際化推進機構
国際化推進センター

目次

国際化推進センター長挨拶	4
国際化推進機構・センター概要	5
2021 年度事業報告	8
< I. 学生の国際化 >	9
(1) 大学院生の国際会議発表促進	9
大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業	9
(2) 海外派遣学生の増員	10
① 協定校等の派遣学生事業	11
② 海外共同研究先への短期派遣学生事業	12
③ カリフォルニア大学 1 年留学プログラム	12
④ ダブルディグリープログラム	13
⑤ 語学研修プログラム	14
⑥ インターンシッププログラム	16
⑦ セルフスタディプログラム	17
(3) 外国人留学生の増員	18
外国人留学生獲得施策	18
< II. 教員の国際化 >	21
(1) 在外研究員派遣の推進	21
在外研究員派遣事業	21
(2) 若手研究者国際学会派遣の推進	22
若手研究者国際学会派遣事業	22
(3) 外国人教員の増員	23
外国人教員の雇用状況	23
(4) その他	24
① 協定校への研究者派遣	24
② 教員向け実務英語研修 「Academic English Brush-up Seminar」	24
< III. 教育研究環境の国際化 >	26
(1) 研究室の国際化の推進	26
① 外国人招へい教員事業	26
② 外国人招へい教員（オンライン）事業	26
③ 協定校等からの研究者受入れ事業	27
④ 協定校等からの学生受入れ事業	27
⑤ ダブルディグリープログラム	28
⑥ 国費外国人留学生制度	29
⑦ IAESTE による海外学生受け入れ	30

⑧ 科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」	31
(2) 世界を身近にする環境整備	32
① インターナショナルラウンジ	32
② 海外協定校	36
(3) 国際広報の充実	37
① パンフレットの作成	37
② LINE	37
<IV. その他>	38
(1) 双方向交流プログラム派遣	38
(2) 双方向交流プログラム受入れ	38
(3) さくらサイエンス双方向交流派遣	38
(4) マレーシアツイニングプログラム	39
(5) インフラ整備	40
① 学生事故対策費用保険	40
② 大学が企画する海外留学のための賠償責任保険 (施設賠償責任保険)	40
③ J-TAS 利用	40
(6) 学外団体への加盟	41
① JAFSA	41
② IAESTE	41
③ JCSOS	41
④ 米国非営利教育財団 スタディ・アブロード・ファウンデーション(SAF)	41
⑤ オープンバッジ・ネットワーク	42
(7) 交流活動	42
留学生といっしょ！東京理科大学キャンパスツアー	42
(8) 学内宿泊施設の管理・利用促進	43
(9) ビザ取得支援	43
(10) 危機管理訓練実施	44

国際化推進センター長挨拶

国際化推進センター長 渡部 和男

大学を取り巻く内外情勢が大きく変化する中で、「国際化」の推進は益々重要となってきました。

本学では、東京理科大学国際化推進戦略中期計画を策定し、「日本の理科大から世界の理科大へ」というビジョンを掲げ、以下の重点事項を優先的に実行に移してまいりました。

1. 学生の英語力の向上
2. 学生・教員の国際的視野の涵養
3. 各研究室で 1 名以上の外国人（大学院生、ポスドク）の受入れ

こうした中で、2021 年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に配慮しつつ、国際化推進機構会議及び国際化推進センター会議での討議を重ねながら、国際化を推進してまいりました。本報告書はその結果を取りまとめたものです。

本学の国際化戦略の客観的データとしてご覧いただき、忌憚のないご意見を当センターまでお寄せいただければ幸いです。

2021 年度の強化項目は次のとおりです

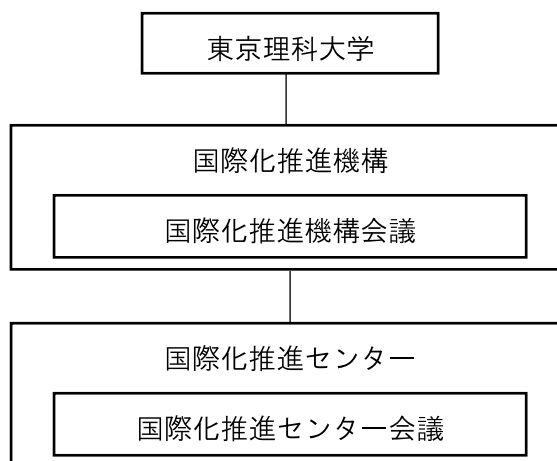
- ①海外留学における危機管理体制の強化 海外協定校データベースの構築・更新
- ②コロナ禍での外国人留学生の受入拡大施策の企画・実施
- ③留学生向けビザ取得支援
- ④インターナショナルラウンジの充実
- ⑤在外研究員制度の見直し
- ⑥オンライン事業の実施・拡充
- ⑦教員向け実務英語研修制度の実施
- ⑧学内広報の充実

2021 年度においても新型コロナウイルスの感染が拡大した状況が続き、国際化推進センター事業にも大きな影響を及ぼしました。本センターとしては、今後とも徹底した安全管理のもとで活動を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

国際化推進機構・国際化推進センター概要

1. 組織

(1) 組織図



(2) 国際化推進機構

国際化推進機構は、本学における国際化推進施策及び戦略を企画立案するとともに、全学的な観点からグローバル人材の育成と、国際連携を推進し、本学の国際的地位の向上を図ることを目的に、2015年4月に設置された。本学の国際化を全学一体となって推進するため、2019年度から2021年度までの3年間に実施すべき国際化推進の方針、目標、具体的施策について、中期計画を策定している。

【国際化推進機構会議】

国際化推進機構に、機構の運営に関する事項を審議するため、国際化推進機構会議（以下「機構会議」）を置く。機構会議は、次に掲げる事項を審議する。

- ① 国際化推進方針及び国際化推進戦略の策定に関する事項
- ② 機構の事業計画に関する事項
- ③ センターの設置及び改廃に関する事項
- ④ 機構の人事に関する事項
- ⑤ 機構に関する諸規程等の制定及び改廃に関する事項
- ⑥ その他機構の管理・運営に関する事項

▶機構構成員（2022年3月31日現在）

機構長 1名

坂田 英明 東京理科大学 副学長

▶機構会議委員 11名（2022年3月31日現在）

加藤 圭一 理学部第一部 数学科 理学部第一部学部長

長嶋 泰之	理学部第二部 物理学科 理学部第二部学部長
近藤 行成	工学部 工業化学科 工学部長
宮崎 智	薬学部 薬学科 薬学部長
伊藤 浩行	理工学部 数学科 理工学部長
田村 浩二	先進工学部 生命システム工学科 先進工学部長
岸本 一男	経営学部 経営学科 経営学部長
北村 大介	研究推進機構 生命医科学研究所 研究科長
愼 蒼健	教養教育研究院葛飾キャンパス教養部 教養教育研究院長
渡部 和男	国際化推進センター長
齊藤 恵一	国際部 部長

(3) 国際化推進センター

国際化推進機構に国際化推進センター（以下「センター」）を置き、本学における国際化推進に係る諸施策を実施するとともに、学生及び教職員の国際活動を支援し、本学の教育研究の更なる国際化に資することを目的に、以下の活動を行う。

- ① 学生の海外派遣及び受入れに関する事
- ② 教職員の海外派遣及び受入れに関する事
- ③ 外国の大学等教育研究機関との国際交流協定に関する事
- ④ 学生の語学留学プログラムに関する事
- ⑤ その他本学の国際化推進に関する事

▶センター構成員（2022年3月31日現在）

センター長 1名

渡部 和男 東京理科大学 特命教授

▶センター会議委員 9名（2022年3月31日現在）

二国 徹郎 理学部第一部 物理学科 教授

趙 新為 理学部第二部 物理学科 教授

坂牛 卓 工学部 建築学科 教授

市原 学 薬学部 薬学科 教授

大宮 喜文 理工学部 建築学科 教授

伊丹 誠 先進工学部 電子システム工学科 教授

佐藤 治 経営学部 経営学科 教授

大石 悦子 教養教育研究院神楽坂キャンパス教養部 教授

本間 芳和 研究推進機構 研究戦略・産学連携センター 嘱託教授

▶事務局

国際部	部長	1 名	齊藤 恵一
国際部国際支援課	課長	1 名	名當 麻衣
	職員	7 名	阿潟濱 直人、和泉 一義、倉本 学、寺西 陽子 橋本 菜穂子、八木澤 龍大、吉澤 なか
	派遣職員	3 名	木村 みゆき、長南 暁美、平岡 裕子

(4) 予算 (当初配分額) 及び執行額

2021 年度 国際化推進機構 (国際化推進センター)

予 算 : 105,764,000 円

執行額 : 31,307,706 円 (執行率 30%)

2021 年度事業報告

I. 学生の国際化

(1) 大学院生の国際会議発表促進

大学院博士後期課程学生国際学会等派遣事業

本学大学院博士後期課程学生が、海外で開催される国際学会等で研究発表することを推進し、学生が研究者として国際力をつけて、知見を広めることで、国際的に貢献できる人材を育成することを目的とする。派遣期間は、14 日以内（日本時間にて、出発日から帰国日までの換算）。

【国際化推進センター負担経費】

航空賃：学校法人東京理科大学国外出張旅費支給基準に準じ、エコノミークラスの航空賃の実費を支給する。

地 域	支給上限額
韓国・台湾	5 万円
東アジア（韓国・台湾を除く）	10 万円
アジア（上記を除く）・大洋州地域	15 万円
南北米大陸・欧州・中近東・アフリカ地域	25 万円

【2021 年度派遣実績】

合計 0 名 予算執行額：0 円

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

(2)海外派遣学生の増員

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年と同様に学生派遣は大幅に制限されたが、2021年度は学位取得を目的とした DMD プログラム及び協定校への長期留学（修士論文作成目的）に限定して派遣を再開した。

この他、短期語学研修プログラムはオンラインで実施し、さくらサイエンス双方向交流プログラム及び学位取得を目的としない協定校外への派遣留学等は中止した。

	プログラム名	派遣先国・地域	派遣先大学	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
語学研修プログラム	オレゴンプログラム	米国	ポートランド大学	12	7	—	中止*	—
	サンフランシスコプログラム	米国	カリフォルニア大学デイビス校	32	31	11		5**
	ロサンゼルスプログラム	米国	カリフォルニア大学アーバイン校	—	10	9		—
	シアトルプログラム	米国	ワシントン大学	—	—	—		2**
	マンチェスタープログラム	英国	マンチェスター大学	27	19	11		—
	ケンブリッジプログラム	英国	ケンブリッジ大学ホマートン校	—	16	18		—
	ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学	18	22	—		1**
	トロントプログラム	カナダ	ヨーク大学	—	—	—		—
	シドニープログラム	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	10	—	—		—
	バンクーバー(COEL)プログラム	カナダ	Canadian College of English Language	—	—	15		—
	キングストン(ロンドン)プログラム	英国	キングストン大学	—	—	29	—	
	セブプログラム	フィリピン	SMEAG	—	—	17	—	
	シドニープログラム	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	10	—	—	—	
	ブリスベンプログラム	オーストラリア	クイーンズランド大学	—	6	6	—	
	サンフランシスコプログラム	米国	カリフォルニア大学デイビス校	—	—	—	1**	
	ロサンゼルスプログラム	米国	カリフォルニア大学アーバイン校	—	—	5	1**	
	ハワイプログラム	米国	ハワイ大学マノア校	—	—	—	3**	
	バンクーバー(UBC)プログラム	カナダ	プリティッシュコロンビア大学	—	—	9	1**	
	ケンブリッジプログラム	英国	ケンブリッジ大学ホマートン校	—	—	8	2**	
	ビクトリアプログラム	カナダ	ビクトリア大学	—	—	中止*	2**	
マレーシアプログラム	マレーシア	アジアパシフィック大学	6	8	中止*	—		
セブプログラム	フィリピン	SMEAG	—	—	15	—		
			小計	115	119	153	9	12
インターンシップ (キャリアパス啓発)	シリコンバレー研修プログラム	米国		19	33	中止*	中止*	中止*
			小計	19	33	0	0	0
協定校への派遣	カリフォルニア大学1年留学プログラム	米国	カリフォルニア大学デイビス校	3	4	0	2	中止*
	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学への経営学生派遣	ドイツ	オストバイエルン・レーゲンスブルク工科大学	7	4	4	中止*	中止*
	ハノーファー大学への経営学生派遣	ドイツ	ハノーファー大学	2	2	2	—	—
	国立陽明交通大学とのDMDプログラム	台湾	国立陽明交通大学	0	2	0	1	2
	台北医学大学とのDMDプログラム	台湾	台北医学大学	—	—	0	0	0
	サスカチュワン大学とのDMDプログラム	カナダ	サスカチュワン大学	—	—	—	1	0
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣(1ヶ月以上)			13	6	10	—	—
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣(1ヶ月未満)			—	—	—	中止*	中止*
	双方向短期留学プログラム(西安交通大学)	中国	西安交通大学	10	10	0	—	—
	双方向短期留学プログラム(大連理工大学)	中国	大連理工大学	—	—	12	—	—
			小計	35	28	28	4	2
協定校以外への派遣	指導教員同士の共同研究に基づく派遣(1ヶ月以上)			4	5	6	—	—
	指導教員同士の共同研究に基づく派遣(1ヶ月未満)			—	—	1	中止*	中止*
	大学院博士後期課程学生国際学会派遣			20	43	42	—	—
	トビタテ！留学ジャパンによる派遣(外部機関)			5	9	7	—	1
	IAESTE(イアエステ)による派遣(外部機関)			1	—	—	—	—
			小計	30	57	56	0	1
さくらサイエンス双方向交流派遣	浙江大學	中国	浙江大學	9	—	—	中止*	中止*
	ハノイ工科大学	ベトナム	ハノイ工科大学	—	—	7		
	ブネー大学	インド	ブネー大学	8	—	—		
	曲阜師範大学	中国	曲阜師範大学	5	—	0		
	インドネシアイスラム大学	インドネシア	インドネシアイスラム大学	6	—	8		
	シーナカリンウィロート大学・チュラロンコン大学	タイ	シーナカリンウィロート大学・チュラロンコン大学	7	—	9		
	チュラロンコン大学	タイ	チュラロンコン大学	—	—	12		
	チトカラ大学	インド	チトカラ大学	—	—	6		
	マラヤ大学	マレーシア	マラヤ大学	—	—	13		
			小計	35	0	55	0	0
			合計	234	237	292	13	15

* 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

** 代替オンラインプログラムを実施。

① 協定校等への派遣学生事業

外国の大学等学術研究機関へ中長期の研究を目的として学生を派遣するプログラム。本学指導教員と派遣先大学教員との間で共同研究を実施しており、派遣学生の共同指導に係る合意がある必要がある。派遣期間は1か月以上～1年間。DMD学生の派遣費用補助も当事業で行う。

	本学との協定の有無	派遣先大学	派遣先国	学部・学科／研究科・専攻	派遣予定期間	
1	有(DMD)	国立陽明交通大学	台湾	理工学研究科 経営工学専攻	2021年10月14日	～ 2022年8月1日
2	有(DMD)	国立陽明交通大学	台湾	理工学研究科 経営工学専攻	2021年10月14日	～ 2022年8月1日
3	有	ウィーン工科大学	オーストリア	工学研究科 建築学専攻	2022年2月15日	～ 2023年1月31日

【国際化推進センター負担経費】

渡航費：日本発の往復国際航空券（上限25万円）を現物支給する。

日当：1日につき、1,000円とし、18万円を上限とする。

宿泊費：1泊につき、1,500円とし、27万円を上限とする

（ただし、食費及び機中泊はこれに含まない）。

【2021年度派遣実績】

派遣者数 3名 予算執行額：1,513,280円

協定校への派遣 3名

≪内訳≫ 国立陽明交通大学 2名
ウィーン工科大学 1名

協定校外への派遣 0名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学位取得を目的としたDMDプログラム及び協定校への長期留学（修士論文作成目的）に限定して派遣を実施した。

② 海外共同研究先への短期派遣学生事業

外国の大学等学術研究機関へ短期の研究を目的として学生を派遣するプログラム。本学指導教員と派遣先大学教員との間で共同研究を実施しており、派遣学生の共同指導に係る合意があることが必要である。派遣期間は1週間以上～1か月未満。

【国際化推進センター負担経費】

渡航費：日本発の往復国際航空券（上限25万円）を現物支給する。

【2021年度派遣実績】

派遣者数 0名 予算執行額：0円

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

③ カリフォルニア大学1年留学プログラム

本学での修学4年間のうちの1年間、カリフォルニア大学デイビス校が実施する Global Study Program に参加する学部学生を対象とするプログラム。通常3月下旬に渡航し、春・夏学期は英語集中授業を受講し、秋・冬学期の履修要件を満たす場合は、秋・冬学期の2学期間、授業登録を許可された正規の科目を履修することができる。単位互換が可能な科目を履修すれば、取得した単位は本学の単位として認定する。

【国際化推進センター負担経費】

授業料等：留学期間中は本学に在籍し、休学扱いにしない。当該年度の本学授業料（授業料・施設設備費）は、国際化推進センターで負担する。

渡航費：成田/羽田⇄サンフランシスコの往復分は、国際化推進センターで負担する。

【2021年度派遣実績】

参加学科数：26学科

応募者数：1名

派遣者数：0名

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

④ ダブルディグリープログラム

本学と海外の協定校の両大学で学び、それぞれの必要要件を満たす学生が、修了時に両大学で学位を取得することができるプログラム。現在、国立陽明交通大学、台北医学大学及びサスカチュワン大学と、ダブルマスターディグリー（DMD）に係る協定を締結し、学生の派遣を行っている。

【国際化推進センター負担経費】

「協定校等への派遣学生事業」の制度を利用して次の経費を負担。

渡航費：日本発の往復航空券を現物支給する。

日 当：上限額の 18 万円を支給する。

宿泊費：上限額の 27 万円を支給する。

㊦ 国立陽明交通大学（台湾）との DMD プログラム

理工学研究科経営工学専攻と、台湾の国立陽明交通大学 College of Management, Department of Industrial Engineering and Management との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／国立陽明交通大学修士（理学）

【2021 年度実績】

応募・派遣者数 2 名

① 台北医学大学との DMD プログラム

先進工学研究科マテリアル創成工学専攻と、台湾の台北医学大学 College of Biomedical Engineering との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学）／台北医学大学修士（理学）

【2021 年度実績】

応募・派遣者数 0 名

㊧ サスカチュワン大学との DMD プログラム

理学研究科応用物理学専攻と、カナダのサスカチュワン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の 2 つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（理学）／サスカチュワン大学修士（理学）

【2021 年度実績】

応募・派遣者数 0 名

⑤語学研修プログラム

夏期休暇期間又は学年度末の約 1 か月間、学生を海外へ派遣するプログラムであり、現地の英語での授業を体験して語学力を向上させるとともに、異文化生活を通じて広い視野と国際感覚を養うことを目的とする。本プログラムは、本学が企画し、旅行企画及び実施を業者へ委託している。参加費用は、受益者負担として全額参加学生が負担する。

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、夏季及び春季プログラム共に派遣先機関での対面プログラムは実施せず、代替としてオンラインプログラムを実施した。

【夏季に実施したオンラインプログラム】

サンフランシスコ(カリフォルニア大学デイビス校)

ビクトリア (ビクトリア大学)

シアトル (ワシントン大学)

【春季に実施したオンラインプログラム】

バンクーバー (ブリティッシュコロンビア大学)

ビクトリア (ビクトリア大学)

学部/研究科別参加者数一覧

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
理学部第一部	15	16	29	1	1
理学部第二部	0	3	6	0	0
工学部	16	18	25	0	1
工学部第二部	0	0	0	0	0
薬学部	4	2	5	2	0
理工学部	37	25	36	5	4
先進工学部	14	22	32	1	1
経営学部	25	32	17	0	2
学部計	111	118	150	9	9
理学研究科	0	0	1	0	0
工学研究科	1	0	0	0	0
薬学研究科	0	0	0	0	1
理工学研究科	1	0	0	0	2
先進工学研究科	0	0	1	0	0
大学院計	2	0	2	0	3
合計	113	118	152	9	12

A. サンフランシスコプログラム

派遣先国	アメリカ
派遣先機関	カリフォルニア大学デービス校
実施期間	夏 2021 年 8 月 7 日 (土) ~ 9 月 3 日 (金) 28 日間
プログラム形態	派遣先機関が提供する一般コース
実施形態	Zoom を使用したオンラインプログラム
参加者数	6 名

B. ビクトリアプログラム

派遣先国	カナダ
派遣先機関	ビクトリア大学
実施期間	夏 2021 年 8 月 4 日(水)~8 月 28 日(土) 25 日間 春 2022 年 3 月 1 日 (火) ~3 月 26 日 (土) 26 日間
プログラム形態	派遣先機関が提供する一般コース
実施形態	Zoom を使用したオンラインプログラム
参加者数	1 名

C. シアトルプログラム

派遣先国	アメリカ
派遣先機関	ワシントン大学
実施期間	夏 2021 年 8 月 10 日(火)~8 月 28 日(土) 19 日間
プログラム形態	派遣先機関が提供する一般コース
実施形態	Zoom を使用したオンラインプログラム
参加者数	2 名

D. バンクーバー (UBC) プログラム

派遣先国	カナダ
派遣先機関	ブリティッシュコロンビア大学
実施期間	春 2022 年 2 月 23 日(水)~3 月 18 日(金) 24 日間
プログラム形態	派遣先機関が提供する一般コース
実施形態	Zoom を使用したオンラインプログラム
参加者数	3 名

⑥インターンシッププログラム

各年度末の1～2週間程度、シリコンバレー（アメリカ・カリフォルニア）近郊へ学生を派遣し、現地の企業・ベンチャーキャピタル訪問、起業家・研究者・本学同窓生とのディスカッション及び現地学生との交流を通じて、理工系人材のキャリアパスについて考えるプログラム。参加した学生には、レポートの提出を義務付け、目的意識の確立、経験の再認識ならびに定着を図っている。

企画運營業務は、本学卒業生が代表を務める会社に委託している。業務委託費を除き、参加費用は全額参加学生が負担する。

2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、プログラムの実施は中止としたが、プログラムの趣旨である「キャリアパスを考える」一助とすることを目的とし、研修の一部分を模擬体験してもらう「シリコンバレー研修体験 Webinar」を2日間にわたり開催した。

【Webinar テーマ】

1 日目：本学卒業生による講義（参加者数 19 名）

- ・シリコンバレーはなぜ特別な場所になり得たのか？
- ・最先端の世界で活躍できるグローバルな人材に必要な要件は？
- ・自身のキャリアをどのように構築していくのか？

2 日目：シリコンバレーで活躍する起業家や研究者を招いての講義（参加者数 10 名）

- ・海外での研究生生活や海外に挑戦する意義について
- ・シリコンバレーで1から留学や仕事へ挑戦すること
- ・シリコンバレーでの働き方について

インターンシッププログラム参加者数

	2017 年度	2018 年度	2019 年度*	2020 年度**	2021 年度**
理学部第一部	2	2	--	--	--
理学部第二部	1	0	--	--	--
工学部	1	8	--	--	--
工学部第二部	0	0	--	--	--
薬学部	1	4	--	--	--
理工学部	2	9	--	--	--
先進工学部	3	1	--	--	--
経営学部	7	7	--	--	--
理学研究科	0	1	--	--	--
理工学研究科	0	0	--	--	--
イノベーション研究科	1	0	--	--	--
旧諏訪東京理科大学	1	1	--	--	--
合計	19	33	--		--

* 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

** 別途「シリコンバレー研修体験 Webinar」を実施

⑦セルフスタディプログラム

2021 年度からの新たな試みとして、本学学生が夏期・冬期休暇期間の約 2 か月間を利用し、コロナ禍でも海外留学やインターンシップの体験及び語学学習が可能なプログラムを 6 種類提供した。オンラインのメリットを活かし、プログラム内容の多様化及び費用の低減を実現し、学生が利用できる語学研修の選択肢を増やした。本プログラムは、プログラム提供元が企画・運営を行い、参加費用は、受益者負担として全額参加学生が負担する。また、単位互換の対象とはしていない。

夏季プログラム

	プログラム名	提供元 / 国	形式	申込者数
㊦	テンプル大学国内留学	Temple University, Japan Campus	対面形式	4 人

冬季プログラム

	プログラム名	提供元 / 国	形式	申込者数
㊦	テンプル大学国内留学	Temple University, Japan Campus	オンラインと対面のハイブリット形式	1 人
㊧	NZLC オンライン語学研修	New Zealand Language Center (語学学校)	オンライン形式	0 人
㊨	オンライン海外インターンシップ	株式会社エイチ・アイ・エス	オンライン形式	0 人
㊩	ウェスタンシドニー大学 オンライン留学	Western Sydney University The College	オンライン形式	0 人
㊪	英語&プログラミング オンライン留学	KREDO JAPAN 株式会社	オンライン形式	0 人
㊫	Study Abroad Foundation オンライン留学	SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション 日本事務局	オンライン形式	0 人

(3)外国人留学生の増員

外国人留学生獲得施策

4月～10月にかけて、日本語教育機関等での説明会・各種留学フェアへの参加、教員向け説明会・個別相談会を主催し、入試広報を実施した。

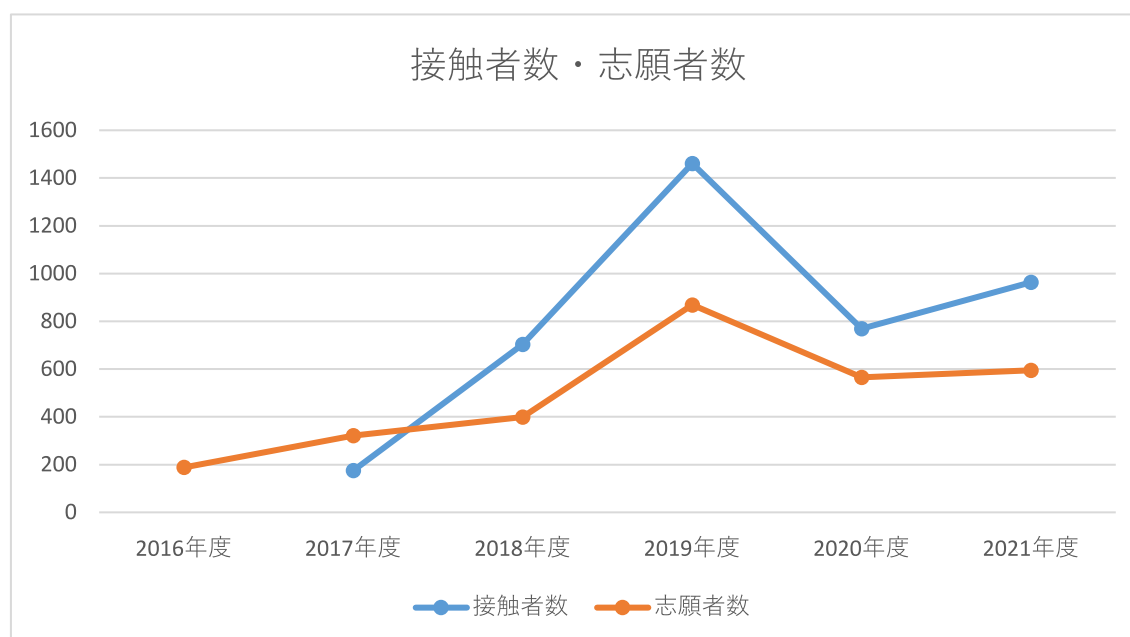
2021年度（2022年度入試）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大学説明会・フェアの中止や日本語学校等への入学者の減少及び入国時期の遅れ等が生じ、接触者数及び志願者数はほぼ横ばいとなった。しかしながら、日本留学試験（EJU）受験者数、延いては日留希望者も減少している昨今の状況で志願者数を維持できたため、概ね目標は達成することができた。

【2021年度実績】

接触者数 : 964名

志願者数 : 595名（Ⅰ期247名/Ⅱ期348名）

予算執行額：7,255,891円



接触者数	志願者数
2016年度 (2017年度入試) : 不明	2016年度 (2017年度入試) : 188名
2017年度 (2018年度入試) : 175名	2017年度 (2018年度入試) : 321名
2018年度 (2019年度入試) : 704名	2018年度 (2019年度入試) : 399名
2019年度 (2020年度入試) : 1461名	2019年度 (2020年度入試) : 879名 (Ⅰ期325名/Ⅱ期554名)
2020年度 (2021年度入試) : 769名	2020年度 (2021年度入試) : 566名 (Ⅰ期185名/Ⅱ期381名)
2021年度 (2022年度入試) : 964名	2021年度 (2022年度入試) : 595名 (Ⅰ期247名/Ⅱ期348名)
	※2019年度 (2020年度) 入試より出願機会は2回 (Ⅰ期/Ⅱ期) に変更

【2021 年度実施施策】

- ・国内の日本語学校・予備校・専門学校での説明会
オンライン : 17 回・517 名
講義 (対面) : 3 回・68 名
ブース (対面) : 5 回・92 名

- ・国外の日本語学校・予備校での説明会
オンライン : 4 回・43 名

- ・進学フェア (国内)
オンライン : 4 回・202 名

- ・進学フェア (国外)
オンライン : 1 回・42 名

- ・教員向け説明会・個別相談会 (本学主催)
大学説明会 : 1 回・57 名
個別相談会 : 1 回・13 名

- ・教員向け説明会 (外部団体主催)
オンライン : 1 回・15 名

【2021 年度実施説明会等一覧】

No	日にち	訪問先・ガイダンス名	種別	形式	2022年度入試
					接触者数
1	2021年3月15日（月）	日本留学・就職フェア（タイ）	フェア	オンライン	18
	2021年3月16日（火）				13
	2021年3月17日（水）				11
2	2021年5月12日（水）	東京国際知識学院	日本語学校	講義	10
3	2021年5月14日（金）	大学院進学相談会	フェア	オンライン	27
4	2021年5月20日（木）	ヒューマンアカデミー日本語学校	日本語学校	オンライン	120
5	2021年5月21日（金）	アクセス日本留学オンラインセミナー	フェア	オンライン	82
6	2021年5月26日（水）	長沼スクール（東京日本語学校）	日本語学校	オンライン	6
7	2021年6月1日（火）	アクセス日本留学フェア@渋谷ヒカリエ	フェア	オンライン	39
	2021年6月2日（水）				20
8	2021年6月3日（木）	東京ギャラクシー日本語学校	日本語学校	ブース	10
9	2021年6月4日（金）	早稲田文化館日本語科	日本語学校	講義	42
10	2021年6月7日（月）	KCP地球市民日本語学校	日本語学校	ブース	13
11	2021年6月8日（火）	エリート日本語学校	日本語学校	オンライン	13
12	2021年6月11日（金）	東京言語教育学院	日本語学校	オンライン	11
13	2021年6月22日（火）	今和教育	予備校	オンライン	33
14	2021年6月29日（火）	関西語言学院	日本語学校	ブース	23
15	2021年7月8日（木）	東京外国語学院 + 複数日本語学校合同説明会	日本語学校	オンライン	50
16	2021年7月12日（月）	ARC東京日本語学校	日本語学校	オンライン	19
17	2021年7月15日（木）	日本語教育機関教員対象 東京理科大学説明会	大学主催	オンライン	57
18	2021年7月15日（木）	日本語教育機関教員対象 東京理科大学個別相談会	大学主催	オンライン	13
19	2021年7月19日（月）	淑徳日本語学校	日本語学校	オンライン	22
20	2021年7月20日（火）	ISIランゲージスクール	日本語学校	オンライン	85
21	2021年7月20日（火）	東京中央日本語学院	日本語学校	オンライン	18
22	2021年7月21日（水）	東京国際文化教育学院	日本語学校	オンライン	4
23	2021年7月21日（水）	関西語言学院②	日本語学校	オンライン	14
24	2021年7月27日（火）	名校志向塾 東京校	予備校	オンライン	51
25	2021年7月28日（水）	JET日本語学校	日本語学校	オンライン	11
26	2021年7月29日（木）	早稲田国際ビジネスカレッジ	専門学校	ブース	38
27	2021年7月29日（木）	早稲田EDU学院	予備校	オンライン	5
28	2021年8月3日（火）	東京ワールド日本語学校	日本語学校	オンライン	38
29	2021年8月5日（木）	京進ランゲージアカデミー新宿校	日本語学校	オンライン	8
30	2021年8月6日（金）	JCLI日本語学校	日本語学校	講義	16
31	2021年8月7日（土）	日工学院 ソウル	予備校	オンライン	12
32	2021年8月10日（火）	時事日本語学校 鐘路キャンパス	予備校	オンライン	10
33	2021年8月11日（水）	時事日本語学校 江南キャンパス	予備校	オンライン	16
34	2021年8月24日（火）	ミッドリーム日本語学校	日本語学校	オンライン	14
35	2021年8月27日（金）	東進ランゲージスクール	日本語学校	ブース	8
36	2021年9月17日（金）	日本留学AWARDSオンライン進学相談会	フェア	オンライン	4
37	2021年9月26日（日）	JASSO日本留学オンラインフェア	フェア	オンライン	34

Ⅱ. 教員の国際化

(1) 在外研究員派遣の推進

在外研究員派遣事業

東京理科大学の専任教員を海外に一定期間派遣し、専門分野に関する研究に専念させる機会を与え、教員の教育及び研究能力を向上させるとともに、当該事業での経験を活かし、外国語による専門科目の講義・研究指導が行えるような教員を養成すること、及び派遣先大学等学術研究機関と将来にわたり共同研究を遂行するための基盤を構築することを目的としている。

【国際化推進センター負担経費】

渡航費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費：月額 10 万円または 14 万円

※派遣先地域によって支給額が異なる

【2021 年度実績】

採択 1 名

実施 0 名 予算執行額：0 円

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

採択内容

学部	学科	職名	受入研究機関	国名	出発日	帰国日	派遣日数
経営学部	ビジネスエコノミクス学科	准教授	College of Engineering University of Notre Dame	米国	-	-	中止

(2)若手研究者国際学会派遣の推進

若手研究者国際学会派遣事業

海外で開催される国際学会で研究発表する若手研究者に旅費を支給することにより、国際人脈を構築する等、若手研究者がキャリアの早期段階から国際的に活躍することを推進するため、本事業を実施する。

【国際化推進センター負担経費】

航空賃：エコノミークラスの往復航空賃（空港までの国内旅費を含む）

【2021 年度実績】

採択 0 名

実施 0 名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

(3)外国人教員の増員

外国人教員の雇用状況 【2021 年度実績】 51 名 / (2020 年度実績 42 名)

本学専任教員数 (職名別)

2021 年 5 月 1 日現在

学 部 等	専 学 攻 科 等	教授			准教授			講師			助教			計		
		計	内訳		計	内訳		計	内訳		計	内訳		計	内訳	
			女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍		女性	外国籍
教養教育研究 院	神楽坂キャンパス教養部	16	1	0	10	6	2	5	3	2	3	1	0	34	11	4
	葛飾キャンパス教養部	9	1	3	12	3	1	6	4	1	1	0	0	28	8	5
	野田キャンパス教養部	10	0	3	15	2	1	4	1	1	1	0	1	30	3	6
	北海道・長万部キャンパス教養部	6	1	0	3	0	1	4	1	2	0	0	0	13	2	3
教養教育研究 院		41	3	6	40	11	5	19	9	6	5	1	1	105	24	18
理学部 第一部	数学科	9	1	0	0	0	0	2	1	0	8	0	0	19	2	0
	物理学科	8	1	1	4	0	1	0	0	0	5	2	0	17	3	2
	化学科	8	0	0	3	0	0	0	0	0	8	0	0	19	0	0
	応用数学科	6	1	0	5	0	0	1	1	1	6	1	0	18	3	1
	応用物理学科	6	0	0	5	0	0	0	0	0	6	0	1	17	0	1
理学部第一部		44	3	2	20	0	1	4	2	1	41	3	1	109	8	5
理学部 第二部	数学科	4	1	0	1	0	0	3	0	0	4	0	0	12	1	0
	物理学科	5	0	1	1	0	0	1	0	0	3	1	1	10	1	2
	化学科	3	0	0	3	1	0	2	0	0	2	0	0	10	1	0
理学部第二部		12	1	1	5	1	0	6	0	0	9	1	1	32	3	2
薬学部	薬学科	19	4	0	7	1	0	3	1	0	13	3	1	42	9	1
	生命創薬科学科	9	0	0	3	0	0	0	0	0	9	3	0	21	3	0
薬学部		28	4	0	10	1	0	3	1	0	22	6	1	63	12	1
工学部	建築学科	11	1	0	2	1	0	0	0	0	6	1	2	19	3	2
	工業化学科	6	0	0	4	1	0	0	0	0	5	0	0	15	1	0
	電気工学科	11	0	0	3	0	0	0	0	0	7	2	3	21	2	3
	機械工学科	8	0	0	2	0	0	2	0	0	4	0	0	16	0	0
	情報工学科	8	1	0	3	1	0	1	0	0	8	1	1	20	3	1
工学部		44	2	0	14	3	0	3	0	0	30	4	6	91	9	6
理工 学部	数学科	7	3	0	5	0	0	3	0	0	5	0	0	20	3	0
	物理学科	10	0	0	3	0	0	0	0	0	8	2	0	21	2	0
	情報科学科	5	1	0	4	1	0	3	0	0	7	1	0	19	3	0
	応用生物科学科	5	0	0	7	2	0	0	0	0	6	2	0	18	4	0
	建築学科	8	1	0	2	0	0	2	0	0	8	2	4	20	3	4
	先端化学科	7	0	0	6	0	0	0	0	0	6	2	0	19	2	0
	電気電子情報工学科	12	0	0	6	1	0	0	0	0	7	1	2	25	2	2
	経営工学科	7	2	1	3	0	0	1	1	1	3	2	0	14	5	2
	機械工学科	10	0	0	2	0	0	2	0	0	5	0	0	19	0	0
理工学部		81	7	2	40	4	0	11	1	1	62	15	7	194	27	10
先進工 学部	電子システム工学科	8	0	0	3	0	0	1	0	0	2	0	0	14	0	0
	マテリアル創成工学科	13	0	0	1	0	0	2	0	0	7	1	0	23	1	0
	生命システム工学科	7	2	0	5	0	0	0	0	0	4	2	1	16	4	1
先進工学部		28	2	0	9	0	0	3	0	0	13	3	1	53	5	1
経営 学部	経営学科	9	2	0	4	2	0	5	3	1	3	1	1	21	8	2
	ビジネスエコノミクス学科	6	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	13	1	1
	国際デザイン経営学科	2	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	5	2	1
経営学部		17	2	1	8	3	1	9	4	1	5	2	1	39	11	4
理学 研究科	科学教育専攻	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
理学研究科		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
理工学 研究科	国際火災科学専攻	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
理工学研究科		3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
経営学研 究科(専門職 大学院)	技術経営専攻	10	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11	3	0
経営学研究科		10	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11	3	0
教育支援機構		3	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0
総合研究院		5	1	0	2	0	0	5	2	0	9	0	2	21	3	2
生命医科学研究所		7	0	0	3	1	0	4	0	0	10	3	2	24	4	2
その他		11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	0
総計		335	29	12	156	25	7	68	19	9	206	38	23	765	111	51

(4) その他

① 協定校への研究者派遣

協定校の教員と本学教員の共同研究の推進及び交流に関する打合せ等を目的として、派遣研究者を募集する。

【国際化推進センター負担経費】

航空賃：エコノミークラスの往復航空賃（空港までの国内旅費を含む）

日 当：派遣先地域によって支給額が異なる。

宿泊費：派遣先地域によって支給額が異なる。

※ 派遣先機関から旅費が支給される場合は、重複する費目は支給しない。

【2021 年度実績】

派遣者数 0 名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

② 教員向け実務英語研修「Academic English Brush-up Seminar」

教員の英語プレゼンテーションや英語を用いた講座運営に必要な技術の向上を目的として、FD セミナーを、教育開発センターと共催した。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面ではなくオンラインで開催した。

▶ 第 1 回セミナー：国際学会アカデミック英会話

開催日時：2021 年 7 月 26 日（月）

参加者：14 名

講師：株式会社アルクエデュケーション Bence Tamas 講師

予算執行額：200,000 円

▶ 第 2 回セミナー：オンラインプレゼンテーション講座（前期）

開催日時：2021 年 8 月 3 日（火）及び 24 日（火）

参加者：7 名

講師：一般財団法人国際教育振興会 日米会話学院講師 Joe Hüg 氏

予算執行額：111,360 円

▶第3回セミナー：教室英語実践講座

開催日時：2021年11月6日（土）

参加者：16名

講師：株式会社アルクエデュケーション Bence Tamas 講師

予算執行額：200,000円

▶第4回セミナー：オンラインプレゼンテーション講座（後期）

開催日時：2022年3月7日（月）及び14日（月）

参加者：4名

講師：一般財団法人国際教育振興会 日米会話学院講師 Joe Hüg 氏

予算執行額：111,360円

Ⅲ. 教育研究環境の国際化

(1) 研究室の国際化の推進

① 外国人招へい教員事業

優れた外国人教員との研究交流の推進とともに本学の英語による授業導入の促進を目的として、外国の学界で活躍する優れた外国人教員等を本学に一定期間招へいする。

【国際化推進センター予算による支給経費】

航空費：エコノミークラスの往復航空賃

滞在費： 日額 10,000 円～12,000 円

【2021 年度実績】

招へい者数 0 名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、招へいを中止した。

② 外国人招へい教員（オンライン）事業

優れた教育研究の実績を有する外国人教員・研究者を本学にオンラインで招へいする。英語による専門分野の講義・講演等を実施し記録することを通じて、オンラインを活用した教育・研究活動の経験を共有し、当該学科および研究科の教育研究の国際化を推進する。

【国際化推進センター予算による支給経費】

謝金：講義・講演 1 回につき、20,000 円～30,000 円、外国送金手数料

【2021 年度実績】

招へい者数 8 名

招へい者内訳

	学部/ 研究科	学科/専攻	招へい研究者 所属機関名	招へい研究者 職名	研究機関 所在国	開始日	終了日
1	理二	化学科	Southern Federal University	教授	ロシア	2021年11月1日	2021年11月30日
2	工	建築学科	Shih Chien University Taipei National University of the Arts	准教授	台湾	2021年4月5日	2021年7月15日
3	工	情報工学科	University of California, Los Angeles	教授	米国	2021年6月1日	2021年7月31日
4	工	情報工学科	Talca University	Instructor (准教授相当)	チリ	2021年12月20日	2021年12月25日
5	先進工	生命システム工学科	A*STARシンガポール 科学技術庁	主席研究員	シンガ ポール	2021年12月6日	2021年12月8日
6	薬学部	生命創薬科学科	Middlesex University	准教授	英国	2021年12月6日	2021年12月8日
7	理工	応用生物科学科	ミュンヘン大学	教授	ドイツ	2021年12月6日	2021年12月8日
8	理工	情報科学科	University of Roma "Tor Vergata", Roma	准教授	イタリア	2021年12月6日	2021年12月8日

③協定校からの研究者受入れ事業

協定校との交流の促進を目的として、協定に基づく研究者交流を行う。

【国際化推進センター予算による支給経費】

協定に定められた費目（日当、宿泊費、渡航費）を支給する。

【2021 年度実績】

受入者数 0 名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受入れを中止した。

④協定校等からの学生受入れ事業

教育研究環境の国際化を目的として、外国の大学等学術研究機関から、研究目的の学生を 1 か月～1 年間、本学の研究室で受け入れる制度。協定校からの受入れの場合は、授業料等を不徴収（国際化推進センター負担）とする。

【2021 年度実績】

受入者数 0 名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受入れを中止した。

⑤ダブルディグリープログラム

本学と海外の協定校の両大学で学び、それぞれの必要要件を満たす学生が、修了時に両大学で学位を取得することができるプログラム。現在、国立陽明交通大学、台北医学大学及びサスカチュワソン大学と、ダブルマスターディグリー（DMD）に係る協定を締結し、学生の受入れを行っている。

A. 国立陽明交通大学 DMD

理工学研究科経営工学専攻と、台湾の国立陽明交通大学 College of Management, Department of Industrial Engineering and Management との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学） / 国立陽明交通大学修士（理学）

【2021 年度実績】

受入者数 1名 予算執行額 785,000 円

B. 台北医学大学 DMD

先進工学研究科マテリアル創成工学専攻と、台湾の台北医学大学 College of Biomedical Engineering との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（工学） / 台北医学大学修士（理学）

【2021 年度実績】

受入者数 0名

C. サスカチュワソン大学 DMD

理学研究科応用物理学専攻と、カナダのサスカチュワソン大学 Department of Physics and Engineering Physics, College of Art and Science との相互交流プログラム。

修士課程の一定期間、他方の大学で研究し、両大学のそれぞれの必要要件を満たす者は、次の2つの学位を得ることができる。

東京理科大学修士（理学） / サスカチュワソン大学修士（理学）

【2021 年度実績】

受入者数 0名

⑥国費外国人留学生制度

文部科学省では、世界の発展に貢献するような人材を育成する目的や、大学の主体的な留学生交流を促進し国際競争力の強化を図る観点から、国費外国人留学生制度を設けている。本学では次の受入れ形態がある。

A. 大使館推薦

在外公館が主体となり、海外に在住する学生を現地における選考試験の結果に基づき推薦する制度。

B. 大学推薦（一般枠・特別枠）

大学が主に大学間交流協定等を締結する海外の大学と協力して海外に在住する学生を新規渡日者と
して推薦する制度。

一般枠は、例年学内公募制となっており、要件を満たす留学生を国際化推進センター委員が選考し、本学から推薦している。

特別枠は、本学の理工学研究科国際火災科学専攻が2018年度「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」に採択されており、年度毎に優先配置枠数5名を獲得している。優先配置期間は2019年度新規渡日分から3年間である。

<給付金額>

月額 143,000 円（研究生等）

月額 144,000 円（修士課程及び専門職学位課程）

月額 145,000 円（博士課程）

（特定の地域において就学・研究する者に対し、月額 2,000 円または 3,000 円を月額単価に加算。なお、予算の状況により各年度で金額は変更される場合がある）

※採用形態により授業料等が日本政府より支給される。

<給付期間>

奨学金支給期間は、渡日後に在籍するそれぞれの課程によって異なる。

大学院修士課程、博士課程及び専門職学位課程に在籍する場合、標準修業年限とする。また、研究生等から大学院の正規課程等に進学希望の者で、一定の基準を満たす特に成績優秀な者については、進学に伴う奨学金支給期間の延長審査を受け、奨金支給期間が延長されることがある。

2021 年度 国費外国人留学生数 内訳

大使館推薦による国費外国人留学生	4 名
大学推薦による国費外国人留学生（一般枠）	4 名
大学推薦による国費外国人留学生（特別枠）	12 名
合 計	20 名

⑦IAESTE による海外学生受入れ

IAESTE (The International Association for the Exchange of Students for Technical Experience) が仲介を行う、理工農薬学系国際インターンシップ。日本では一般社団法人日本国際学生技術研修協会が事務局を務め、欧米を中心に研修生を受け入れている。

【国際化推進センター負担経費】

滞 在 費：30,000 円/週

宿泊手数料：12,000 円/回

【2021 年度実績】

実施 0 件

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受入れを中止した。

⑧科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」

本事業は、産学官の緊密な連携により、アジアを中心とする国・地域の優秀な青少年に日本の先端的な科学技術に触れる機会を提供することを通して、科学技術イノベーションに貢献しうる海外からの優秀な人材との継続的な研究等の交流を促進することを目的とする。

【交流形態】（大学対象）

▶A コース「科学技術体験コース」

日本の先端的な科学技術に触れる機会と日本の研究者・学生等との交流体験を通して、科学技術分野における継続的な交流を促進する。

▶B コース「共同研究活動コース」

国際共同研究のテーマや計画の策定、予備的な実験など共同研究を開始する、あるいは具体的な共同研究に参加させる活動を対象とする。

▶C コース「科学技術研修コース」

送出し国・地域のニーズあるいは地球規模課題の解決に資する科学技術に関する具体的な技術・能力の習得の機会を提供する活動を対象とする。

◆オンライン交流コース（代替プログラム）

採択された交流計画について、実招への補完（代替手段）として、オンラインで交流の継続を図ろうとするもの。

◆オンラインプログラム

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により諸外国との往来制限が長期化する中、オンラインだからこそ可能な交流を実施するもの。

過去に実施した基となる 交流計画のコース	オンライン交流（フォローアップ支援）で想定される内容
科学技術体験コース（A コース）	単なるビデオ映像の紹介だけでなく、新たな機関、研究者・学生との双方向交流が含まれるもの
共同研究活動コース（B コース）	研究の新たな展開や発展が認められるもの
科学技術研修コース（C コース）	研修内容の拡充が認められるもの

【2021 年度実績】

オンライン交流コース（代替プログラム）：2 件 （支援金総額：127,776 円）

オンラインプログラム：1 件 （支援金総額：183,435 円）

2021 年度採択一覧

	区分	受入部局	受入れ大学	国名	人数	支援金合計
1	代替オンライン	研究推進機構総合研究院光触媒研究推進拠点	ブネー大学	インド	7	¥ 95,832
2	代替オンライン	研究推進機構総合研究院光触媒研究推進拠点	東南大学	中国	5	¥ 31,944
3	オンライン	理学部第一部物理学科	曲阜師範大学	中国	15	¥ 183,435

(2)世界を身近にする環境整備

①インターナショナルラウンジ

インターナショナルラウンジは、「世界の入り口はインターナショナルラウンジ」をコンセプトに、多様な価値観を共有する場の提供及び学生の英語学習や海外留学への動機付けを行うことを目的とした施設である。

例年、各キャンパス所定の曜日・時間に英会話のネイティブ講師を派遣し、気軽に英語を話せる環境を整えるほか、英語学習及び留学・国際交流に関する各種イベント・セミナーを開催している。2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、物理的な施設は閉室とし、英会話及び各種イベント・セミナーをオンラインにて実施した。

【2021年度インターナショナルラウンジ利用状態】

	前期	後期	春休み 追加開室	イベント・ セミナー	総計
利用者数	1,474名 (※1)	1,915名 (1,835名)	875名 (1,035名)	228名 (262名)	4,492名 (3,132名)

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度前期は全面閉室とした。

(1) ネイティブ講師派遣（オンライン）

①前期：Zoom を利用したオンラインにて英会話を実施し、物理的な施設は閉室とした。

講師数 : 3名 (1名につき各キャンパス共有のオンラインクラスを1つ担当。)

※講師の派遣は「株式会社アルプロス」へ業務委託を行った。

期間 : 2021年4月21日～7月21日の授業実施日 (70日間)

時間 : 10:30～13:30 (3時間)

利用者数 : コマ毎延べ 1,474名

経費 : 国際化推進機構予算

講師派遣委託費 : 4,400円/1時間×3時間×70日×3名 = **2,772,000円**

②後期：Zoom を利用したオンラインにて英会話を実施し、物理的な施設は閉室とした。

講師数 : 3名 (1名につき各キャンパス共有のオンラインクラスを1つ担当。)

後期からは初心者向けのオンラインクラスを開設した。

※講師の派遣は「株式会社アルプロス」へ業務委託を行った。

期間 : 2021年9月27日～2022年1月17日の授業実施日 (70日間)

時間 : 10:30～14:30 (4時間)

利用者数 : コマ毎延べ 1,915名

経費 : こうよう会国際化対応助成金

講師派遣委託費 : 4,400円/1時間×4時間×70日×3名 = **3,696,000円**

③春休み：Zoom を利用したオンラインにて英会話を実施した

講師数 : 3 名 (1 名につき各キャンパス共有のオンラインクラスを 1 つ担当。)

※講師の派遣は「株式会社アルプロス」へ業務委託を行った。

期間 : 2022 年 2 月 14 日～2022 年 3 月 18 日の授業実施日 (24 日間)

時間 : 10:30～14:30 (4 時間)

利用者数 : コマ毎延べ 875 名

経費 : こうよう会国際化対応助成金

講師派遣委託費 : 4,400 円/1 時間×4 時間×24 日×3 名=1,267,200 円

(2) イベント・セミナー開催

開催数 : 28 回

参加者数 : 228 名

経費 : 国際化推進センター予算 1,242,148 円

こうよう会国際化対応助成金 536,800 円

※イベント・セミナーの詳細については「別表」をご参照ください。

(3) 定期購読購入費

経費 : 国際化推進機構予算 85,862 円

(4) その他備品購入等

経費 : 国際化推進機構予算 454,296 円

2021 年度国際ラウンジオンラインセミナー

	講座名	開催日	参加者数	対象
1	TOEIC講座1 ～入門編～	5/19 (水)	10	・TOEICの構造や勉強法について学びたい学生 ・TOEIC受験に慣れていない学生
2	TOEFL講座1 ～Listening&Readingパートを学ぶ～	5/31 (月)	16	・TOEFL iBTまたはITPを受検予定の学生 ・海外留学の準備をしている学生
3	プレゼンテーション講座1 ～入門編～	7/6 (火)	4	・英語は使っているが、英語でのプレゼンテーションは初心者である学生 ・英語でのプレゼンテーションの基礎を学びたい学生 ・学会発表を目指している学生
4	ビジネス英語講座	7/17 (土)	7	・ビジネス英語に興味のある学生 ・卒業後に英語を使う可能性がある学生
5	技術英語講座1 (基礎編①)	8/25 (水) 31 (火)	26	・技術英検受験を見据える学生 ・研究における文章作成を学びたい学生 ・文法をしっかり見直したい学生
6	TOEIC講座2 ～600点突破講座～	10/8 (金)	20	・TOEICを受験したことがある学生 ・TOEIC600点突破を目指す学生
7	プレゼンテーション講座2 ～問題解決編～	12/2 (木)	4	・過去、英語でのプレゼンを行ったことがある学生 ・英語でのプレゼンスキルを向上させたい学生
8	TOEFL講座2 ～Speaking&Writingパートを学ぶ～	12/16 (木)	13	・TOEFL iBTを受検予定の学生 ・海外留学の準備をしている学生
9	技術英語講座2 (基礎編②)	2/17(木) 24(木)	22	・技術英検受験を見据える学生 ・研究における文章作成を学びたい学生 ・文法をしっかり見直したい学生
10	TOEIC講座3 ～800点突破講座～	2/22 (火)	25	・TOEICを受験したことがある学生 ・TOEIC800点突破を目指す学生

2021 年度インターナショナルラウンジオンラインイベント

	講座名	開催日	参加者数	対象
1	英会話超初心者のための入門クラス	4/15 (木)	参加者 定員なし	・ラウンジのオンライン英会話を初めて利用する学生 ・英語超初心者の学生 ・英語だけでは不安な学生
2	外国人学生との オンライン交流会	4/28 (水)	18	・様々な国からの留学生とおしゃべりしたい学生 ・英語で話したい、海外に興味がある学生 ・Boschのような国際的な企業で 働く様子について聞きたい学生
3	英会話超初心者のための入門クラス	5/13 (木)	参加者 定員なし	・ラウンジのオンライン英会話を初めて利用する学生 ・英語超初心者の学生 ・英語だけでは不安な学生
4	講師の出身国について知ろう！	5/28 (金)	参加者 定員なし	・ラウンジの先生について知りたい学生 ・外国の文化について興味がある学生 ・英語のプレゼンを聞いてみたい学生
5	外国人学生との オンライン交流会2	6/9 (水)	11	・様々な国からの留学生とおしゃべりしたい ・英語で話したい、海外に興味がある ・Boschのような国際的な企業で 働く様子について聞きたい
6	英会話超初心者のための入門クラス	6/17 (木)	参加者 定員なし	・ラウンジのオンライン英会話を初めて利用する学生 ・英語超初心者の学生 ・英語だけでは不安な学生
7	外国人学生との オンライン交流会3	中止		・様々な国からの留学生とおしゃべりしたい学生 ・英語で話したい、海外に興味がある学生 ・Boschのような国際的な企業で 働く様子について聞きたい学生
8	英会話超初心者のための入門クラス	10/4(月)	参加者 定員なし	・ラウンジのオンライン英会話を初めて利用する学生 ・英語超初心者の学生 ・英語だけでは不安な学生
9	英会話超初心者のための入門クラス	11/3(水)	参加者 定員なし	・様々な国からの留学生とおしゃべりしたい学生 ・英語で話したい、海外に興味がある学生 ・Boschのような国際的な企業で 働く様子について聞きたい学生
10	講師の出身国について知ろう！	11/22 (月)	参加者 定員なし	・ラウンジの先生について知りたい学生 ・外国の文化について興味がある学生 ・英語のプレゼンを聞いてみたい学生
11	外国人学生との オンライン交流会3	11/24 (水)	5	・様々な国からの留学生とおしゃべりしたい学生 ・英語で話したい、海外に興味がある学生 ・Boschのような国際的な企業で 働く様子について聞きたい学生
12	英会話超初心者のための入門クラス	12/3(金)	定員なし	・ラウンジのオンライン英会話を初めて利用する学生 ・英語超初心者の学生 ・英語だけでは不安な学生
13	英会話超初心者のための入門クラス	1/12(水)	定員なし	・ラウンジのオンライン英会話を初めて利用する学生 ・英語超初心者の学生 ・英語だけでは不安な学生

2021 年度インターナショナルラウンジオンラインセミナー・イベント (こうよう会助成金による開催)

	講座名	開催日	参加者数	対象
1	英語でクリティカルシンキング講座	7/30 (金)	10	・クリティカルシンキングを学びたい学生 ・英語でのスピーチを訓練したい学生
2	理科大OBによる講演会 「海外で働くということ」	8/28 (土)	18	・将来的に海外での勤務を目標とする学生
3	国際学会プレゼンテーション 対策講座	3/4 (金)	6	・国際学会で発表予定の学生 ・国際学会でのプレゼンテーションを想定した訓練を望む学生
4	国際学会Q&A対策講座	3/11 (金)	4	・国際学会で発表予定の学生 ・国際学会でのQ&Aを想定した訓練を望む学生
5	ビジネス英語講座	3/16 (水)	9	・ビジネス英語に興味のある学生 ・卒業後に英語を使う可能性がある学生

③海外協定校

2022年3月31日現在、30か国・地域の80大学3機関と協定を締結しており、教職員及び学生の交流、共同研究、情報及び刊行物の交換等を行っている。

2021年度は、外国の大学等学術研究機関との新規協定締結は行っていない。

【国・地域別協定校数】

(国・地域名はあいうえお順)

地域	国名	協定	地域	国名	協定
アジア	インド	3	欧州	フランス	9
	インドネシア	2		ブルガリア	1
	韓国	6		ポーランド	1
	タイ	4		ポルトガル	1
	台湾	4		モルドバ共和国	1
	中国	15		リトアニア共和国	1
	ベトナム	1		ルーマニア	3
	マレーシア	2		ロシア	1
	計	37		計	36
欧州	アイルランド	1	中南米	コスタリカ	1
	イタリア	1		ドミニカ共和国	1
	英国	2		ブラジル	1
	オーストリア	2		計	3
	カザフスタン	1	北米	カナダ	2
	スペイン	3		米国	5
	スロベニア	1		計	7
	ドイツ	6	総計		83
	フィンランド	1			

(3)国際広報の充実

①パンフレットの作成

留学・国際交流パンフレット

国際化推進センターで実施している海外留学プログラムの学内広報を目的に作成し、学生の父母、新入生、留学説明会参加者及び希望する学生等へ配布を行っている。

2021 年度は 2022 年度の広報に向け、学生の利便性の向上を目的に、既存の紙面によるパンフレットを簡素化し、新たに Web サイトを構築した。これにより、学生は随時プログラムにアクセスできるようになり、留学プログラムの変更も即時反映することが可能となった。

予算執行額：4,464,900 円

②LINE

学内広報強化の一環として、2018 年 6 月より、それまでのメーリングリストによる情報配信に代わりに、日本国内で非常に高い普及率を誇る LINE による情報配信へ切り替えた。

2022 年 3 月末現在で友達数（登録者数）は 1,118 名。

年会費：99,000 円

IV. その他

(1) 双方向交流プログラム派遣

本学が協定を結ぶ海外の大学との間で学生の相互短期派遣を行い、国際感覚を培うことを目的としている。

本学学生の派遣は1週間程度で、派遣先の大学の講義の受講や、その国の文化などを体験する。2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

(2) 双方向交流プログラム受入れ

本学が協定を結ぶ海外の大学との間で、学生を相互に派遣し、学生の国際感覚を培うことを目的としている。

海外からは協定校の学生を1週間程度受け入れ、本学授業の受講や研究室での共同研究や日本文化体験等を行う。また、先に当該大学に派遣した学生もホスト役として参加し、派遣・受入のお互いの立場を入れ替えて、異文化交流を行う。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受入れを中止した。

(3) さくらサイエンス双方向交流派遣

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の日本・アジア青少年サイエンス交流事業（SSP）を通じて本学に受入れた機関に対し、本学の教員及び学生を派遣して、双方向で交流を深めることを目的としている。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を中止した。

(4) マレーシアツイニングプログラム

マレーシア政府の資金によるマレーシア日本高等教育プログラム(MJHEP) とコンソーシアムを組む日本の大学(加盟校 24 大学)が、現地で3年間の準備教育、専門基礎教育(電気系・機械系)を受けたマレーシア人学生を3年次に編入学させるプログラムである(2010年度より受入れ開始)。

本学の受入学科は、工学部電気工学科、理工学部電気電子情報工学科、機械工学科で、毎年11月に現地で編入学試験が実施され、2020年度(2021年度入試)まで、この制度によりマレーシアから留学生を受け入れてきた。

なお、この制度は2020年度(2021年度入試)をもって終了となり、2022年度(2023年度入試)からは新たに UniKL JUP プログラムが始動する予定である。UniKL JUP プログラムはマレーシア日本高等教育プログラム(MJHEP)から制度上大きな変更はない。今後も新しい制度を通じて引き続きマレーシアからの留学生を受け入れる予定である。

【2021年度実績】

		2019	2020	2021	2022	計
工学部	電気工学科	1	0	0	実施なし	1
理工学部	電気電子情報工学科	0	0	0		0
	機械工学科	2	0	2		4

(5) インフラ整備

① 学生事故対策費用保険

留学する学生が個人で加入する海外旅行傷害保険に加え、学生が事故等に遭遇した際に、大学が各種費用の支出を余儀なくされた場合、その損害費用をてん補する 4 つの保険が、学生事故対策費用保険である。

見舞費用保険金 : 弔慰金又は見舞金を大学が支払う場合。

救援者費用保険金 : 家族や大学の代理人が救援のため現地に赴く費用を大学が負担する場合。

事故対応費用保険金 : 大学が事故対応のために大学関係者を現地に派遣した場合。

臨時費用保険金 : 大学が臨時に負担した費用に対し、救援者費用保険金と事故対応費用保険金の合計 20%に相当する額を大学に支払う。

利用件数 : 8 件

予算執行額 : 保険料 79,100 円

② 大学が企画する海外留学のための賠償責任保険（施設賠償責任保険）

大学が企画する留学制度を利用して、海外に留学する学生が、留学活動中に第三者に対して損害を発生させたことによって、第三者が大学に賠償責任を求めた場合に対応する保険である。

賠償責任保険 : 1 名あたり 1 億円 / 1 事故あたり最大 10 億円

利用件数 : 0 件

予算執行額 : 契約料 100,000 円

③ J-TAS 利用

特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会（JCSOS）が提供する、派遣学生向け・教育機関向けの危機管理サービスを、J-TAS サービスと呼ぶ。

派遣学生向けには、海外留学生サポートサービス（日常のトラブルから緊急時の相談まで 24 時間 365 日受け付ける）や、医療アシスタンスサービス（日本人の看護師・救急医が 24 時間 365 日対応。精神科を含む専門的医療相談をカバー）となっている。

大学向けには、派遣学生、大学、アシスタンス会社、保険会社と情報を共有することで一元化し、傷害・事故の際には、一報を受けたアシスタンス会社の判断で迅速な初動対応を行い、事故処理までを海外旅行保険（渡航者契約）、学校向け危機管理サポートなどと組み合わせて行う。

利用件数 : 9 件

予算執行額 : サービス利用料 396,212 円

(6) 学外団体への加盟

① JAFSA

本学の国際化に資する種々の情報を収集するため、JAFSA（国際教育交流協議会）に加盟している。JAFSA は、1968 年に設立され 2003 年に法人格を取得した特定非営利活動法人（NPO）で、300 以上の大学・教育機関・企業を会員団体とするネットワーク組織である。

予算執行額：年会費 150,000 円

提供されるサービス：人材育成（各種研修・セミナー等）、海外フェアへの参加等

② IAESTE

世界規模での技術的発展、国際理解と親善を促進し、質の高い実践的な滞在費支給型海外インターンシッププログラムを提供する非営利・非政府団体 IAESTE（イアエステ）に加盟し、本学内でのインターンを希望する学生を受入れている。IAESTE は、1948 年にイギリスで設立され 累計 35 万人以上のインターンシップ生を輩出し、世界 80 カ国以上に支部を持つ世界最大級のインターンシップ斡旋組織となっている。

予算執行額：年会費 400,000 円

提供されるサービス：海外インターンシップ学生受入れの斡旋

③ JCSOS

学生や大学等の教育機関に対し、危機管理セミナーの実施や海外安全情報の提供等を行うことを通じて、海外で学ぶ日本人学生の安全を図ることを目的として設立された特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会（JCSOS）に加盟している。

予算執行額：年会費 100,000 円

提供されるサービス：J-TAS（JCSOS トータルアシスタンスサービス）、危機管理コンサルティング

④米国非営利教育財団 スタディ・アブロード・ファウンデーション（SAF）

約 180 を超える名門大学の国際的な大学ネットワークを有する SAF と連携し、本学学生の私費留学やオンライン短期留学を支援する。2021 年度は、5 人の本学学生が SAF に私費留学についての相談を行った。

⑤一般財団法人オープンバッジ・ネットワーク

オープンバッジとは、デジタル化された証明書である。一般財団法人オープンバッジ・ネットワークは、ブロックチェーン技術による信頼性の高いプラットフォームを有しており、会員に対してオープンバッジ発行に関するサービスを提供している。

本学は 2022 年 3 月に一般財団法人オープンバッジ・ネットワークに入会した。2022 年度以降、本学学生で国際化推進センターが主催する特定の講座を受講した学生に、オープンバッジを発行する。

予算執行額： 入会金 55,000 円 年会費 55,000 円

(7) 交流活動

留学生といっしょ！東京理科大学キャンパスツアー

小学生の科学への興味、外国文化への興味、ひいては子供たちが世界で活躍する夢を持つきっかけ作りを目的とし、本学留学生と葛飾の未来を担う青少年（小学生）との交流会を開催している。

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、交流を中止した。

(8) 学内宿泊施設の管理・利用促進

グローバル人材の育成、国際交流の場の提供を目的とし、野田キャンパス内に「野田国際コミュニティハウス」を設置している。

当コミュニティハウス内には、ハウスアシスタント（以下「HA」という）と呼ばれる日本人留学生とペアで居住するシェアルームがあるが、国際化推進センター事業で受入れる短期滞在の外国人留学生が当施設へ入居し、日々の生活のサポートをHAがサポートしている。

協定校等からの受入れ学生が入居を希望する場合、一定の期間、国際化推進センター予算で外国人留学生の利用料の補助をしている。

2021 年度当コミュニティハウス利用実績（外国人留学生）：

国籍	入居者数
台湾	1

(9) ビザ取得支援

本学の国際化推進支援のため、国際化推進センターでは、本学で直接雇用する外国人研究者、又は本学に新規入学予定である外国人留学生に向けて、長期滞在者向けの在留資格交付申請を代行している。

在留資格認定証明書に係る事務手続きを円滑に進めるため、学外行政書士法人と業務委託契約を本学は結んでおり、在留資格申請者の負担軽減に努めている。一定の要件を満たす場合の業務委託料は、国際化推進センター予算で負担している。

当課で支援する在留資格の種類は、「教授」及び「留学」である。

2021 年度当サービスを通しての在留資格認定証明書申請件数（2022 年 3 月時点）

在留資格	種別	件数
教授	嘱託助教	3
	ポストドクトラル研究員	3
留学	協定校等からの非正規留学生	2
	学位取得を目的とした正規留学生	59

(10) 危機管理訓練実施

海外において緊急事態が発生した際に、大学として組織的に迅速かつ適切に対応するべく、海外における危機管理に関して教職員の理解を深めるための研修を行っている。

2021 年度は e-ラーニング形式で研修を実施し、学生の海外渡航時の危機管理について、教職員全員が意識を共有する機会を設けた。

【実施内容】

期間：2021 年 11 月 1 日～12 月 24 日

実施方法：e-ラーニング形式にて自席にて受講

対象者：専任教職員（嘱託専任扱い含む）

実施内容：四部構成・各 30 分程度

第 1 部：海外危機管理について

第 2 部：緊急発生から初動対応まで・海外リスクについて

第 3 部：海外における多種多様なリスク

第 4 部：危機発生時に大学に求められる判断・大学の広報対応